

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	南国市 392049
地域名 (地域内農業集落名)	国府地区 (比江、国分、左右山)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	127 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	77 ha
② 田の面積	109 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	16 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	29 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

(備考)

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農道が狭く、水路は改修が必要であるが、国営ほ場整備の工事はまだ未定であるため、現状のまま維持していくなければならない。田植え時期に用水が足りない、雨が降ると水が排水されないなど、営農していく上での課題が目立つ地区である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域内の担い手では不十分であり、地区外から大規模農家が参入しているため、担い手に集約していく。

また、地域農業を守っていくため、集落営農の活動を推進していく。困ったときに相談しやすい体制づくりをおこなっておく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付を進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としていく。

現状の集積率	8 %	将来の目標とする集積率	20 %
--------	-----	-------------	------

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標

既存の担い手が地区外の耕作地を地区内に集積・集約化することや、地区外の担い手の受け入れを行うことで、農地利用の集積・集約化を促進する。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

農地中間管理機構を活用して、認定農業者や大規模農業法人へ団地面積の拡大を進めるとともに、担い手及び農業を担う者への農地集積を進める。

(2)農地中間管理機構の活用方法

地域全体の農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を把握し、段階的に集約化を進める。

(3)基盤整備事業への取組

予定している国営ほ場整備を順次すすめていく。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

地域内に十分な担い手がいないが、地区外から担い手が参入している地区なので集積・集約していく。
また、稼げる農業を目指すために行政やJAの支援を活用する。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

特になし

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畠地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

③ほ場整備を機に機械化を進めていく。

